

2007年度 日本語教育学会春季大会

主催：社団法人 日本語教育学会

開催日：2007年5月26日(土)、27日(日)／会場：桜美林大学(東京都町田市常盤町 3758)

参加費(含予稿集)：会員=4,000円 一般=5,000円／懇親会費：3,000円

参加申込：大会当日受付でお申し出ください／連絡先：090-1999-3315(当日のみ)

【第1日】5月26日(土) 太平館

理事会・評議員会	3階 A303	10:00～11:00
通常総会	3階 A303	11:00～12:00
開会式・表彰式	2階 A200(メイン), A201・A202(サブ)	13:00～14:05
司会 川口 義一 (大会委員長) 会長挨拶 杉戸 清樹 (日本語教育学会会長) 開催挨拶 佐藤東洋士氏(桜美林大学学長)		
シンポジウム	2階 A200(メイン), A201・A202(サブ)	14:15～17:30

聴解教育の方法と可能性

知識があっても聞けない学習者はどうしたら良い？未習語の事前指導はどの程度必要？ディクテーションのやり方は？等々、聴解教育に悩む教師は多いと思います。本シンポジウムは、そのような現場の疑問を元に、「推測」「予測」「識別」「記憶」という4つのキーワードから、より良い方法を確立するための提案を行います。

小林氏は、聞けない部分を学習者がどう「推測」するかを、SPOT 開発の理論的背景を踏まえて論じます。石黒氏は、講義発話データを元に、母語話者にも無自覚な「予測」能力の習得の必要性を論じます。小河原氏は、音の「識別」力を高める方法として、学習者の思考過程の共有活動等を紹介します。松見氏は、聴解を支える「記憶」を心理学的に解明し、聴解練習法としてのシャドーイングを紹介します。

発表では会場参加型の簡単な実験を数多く取りいれて「聞く」行為を再認識してもらい、聴解のメカニズムを解明していきたいと考えています。

＜企画・運営担当大会委員＞田中真理, 松崎寛, 山内博之

司会：松崎寛(広島大学)

第1部 聴解のメカニズム

- 推測 小林典子氏 推測力を高めるための教室活動
—全体から部分を、部分から全体を— (筑波大学)
- 予測 石黒圭氏 予測力を高めるための教室活動
—予測を意識した理解指導のために— (一橋大学)
- 識別 小河原義朗氏 識別力を高めるための教室活動
—学習者の思考過程を可視化する— (北海道大学)
- 記憶 松見法男氏 記憶力を高めるための教室活動
—聴解の「今」を支える心的機能— (広島大学)

懇親会 崇貞館 1階桜カフェ 18:00～19:30

【第2日】5月27日(日) 明々館

口頭発表	明々館 3階 A307～A309, 4階 A406～A407	10:20～16:15
ポスター発表	明々館 5階 A506	10:00～12:00, 13:40～15:40
パネルセッション	明々館 4階 A408, 5階 A510	10:00～12:00, 14:00～16:00
デモンストレーション	明々館 5階 A507	13:40～15:40
日本語能力試験改定中間報告会	明々館 4階 A408	13:00～13:30

【口頭発表】

《第1会場》明々館 3階 A307

- ① 10:20～10:50 香港における上級日本語学習者の複合動詞の習得及び使用実態調査
何志明(香港中文大学)
- ② 10:55～11:25 視点表現としての「～ている」の使用状況
－漫画の描写から探る日本語学習者と日本語母語話者の使用の違い－
木村愛子(南山大学)
- ③ 11:30～12:00 中上級日本語学習者による形容語彙の産出
黒崎亜美(ラボ日本語教育研究所), 松下達彦(桜美林大学)
- ④ 13:40～14:10 意味的に対応する和語と漢語の使い分けについて
－話し言葉コーパスと書き言葉コーパスの分析から－
佐々木典子(パデュー大学大学院生)
- ⑤ 14:15～14:45 新聞の社説を対象とした日本語文型の使用頻度調査研究
陳佩璇(山形大学大学院特別聴講学生), 山本広志(山形大学)
- ⑥ 15:10～15:40 上級日本語学習者のコロケーションに関わる誤用
－動詞「する」を中心に－
鈴木綾乃(東京外国語大学大学院生)
- ⑦ 15:45～16:15 中国人日本語学習者の「のだ」「のか」の習得状況
趙萍(麗澤大学大学院生)

《第2会場》明々館 3階 A308

- ① 10:20～10:50 日本語教育における縮約形と拡張形
－話し手の情意と『やはり』－
増田恭子(ジョージア工科大学)
- ② 10:55～11:25 心地よいと思われる「ほめ」の表現
－日本語と韓国語の会話データを用いて－
金庚芬(東洋大学)
- ③ 11:30～12:00 オノマトペに対するピリーフ
－日本語教師と学習者の比較－
ツイガルニツカヤレナ(筑波大学大学院生)
- ④ 13:40～14:10 留学生の講義理解を阻害する問題点
－アジャクトクラスの日本語・専門科目講義の観察から－
関口律子(拓殖大学)
- ⑤ 14:15～14:45 音声提示された正順・かき混ぜ語順の単文理解が長文の聴解に及ぼす影響
玉岡賀津雄(広島大学), 宮岡弥生(広島経済大学), 邱學瑾(台湾台中技術学院)
- ⑥ 15:10～15:40 英語を母語とする中・上級日本語学習者の漢字語彙の認知について
－音の影響－
小森早江子(中部大学)
- ⑦ 15:45～16:15 脳波で検証するピッチパタンの無意識「留意」について
山田伸子(茨城大学)

《第3会場》明々館 3階 A309

- ① 10:20～10:50 上級語彙を能動的に楽しく学ぶ
－留学生に対する大学初年次日本語教育としての試み－
茂住和世(東京情報大学)

- ② 10:55～11:25 **授業における日本人協力者の活用**
 —学習支援の内容と教師の役割—
 鈴木理子(桜美林大学)
- ③ 11:30～12:00 **口頭ナラティブの指導方法および学習成果に関する考察**
 熊崎早苗(YAMASA 言語文化研究所)
- ④ 13:40～14:10 **自律学習を基盤とした個別対応型日本語授業に対する学習者の態度**
 藤田裕子(桜美林大学)
- ⑤ 14:15～14:45 **協働的な学習を可能にする教室環境の改善**
 —日本語上級クラスへの対立解消プログラムの導入・展開とその効果—
 吉本 恵子(文化外国語専門学校)
- ⑥ 15:10～15:40 **大学院進学希望者のための「論理的思考法を学ぶ授業」の試み**
 足立尚子(日本学生支援機構)
- ⑦ 15:45～16:15 **日本事情における参加型学習**
 —その手法と理念—
 林(白川)和子(大阪外国語大学)

《第4会場》明々館 4階 A406

- ① 10:20～10:50 **日本語学習者の作文過程**
 —学習段階と分析的評価の視点から—
 石毛順子(東京外国語大学大学院生)
- ② 10:55～11:25 **自己についての「語り」を中心とした日本語教室活動における言語学習の特質**
 —教室会話分析を通して見た学習者の活動参加の様相—
 家根橋伸子(広島大学大学院生)
- ③ 11:30～12:00 **学習者と教師による話技能の間違い分析**
 萩原章子(アイオワ大学大学院生)
- ④ 13:40～14:10 **接触場面における学習者の「スピーチスタイル」に関する気づき**
 ウォーカー泉(早稲田大学大学院生)
- ⑤ 14:15～14:45 **海外の日本語相手言語接触場面におけるインターアクション管理**
 —日本人参加者(JP)の管理プロセスの特徴と日本語教育への有用性—
 舛見蘇弘美(ニューサウスウェールズ大学)
- ⑥ 15:10～15:40 **日本語プレースメントテストにおける DIF 研究**
 酒井たか子(筑波大学), 井上俊哉(東京家政大学), 浅見かおり(東京医科歯科大学), 伊東祐郎(東京外国語大学), 三枝令子(一橋大学), 島田めぐみ(東京学芸大学), 孫媛(国立情報学研究所), 野口裕之(名古屋大学)
- ⑦ 15:45～16:15 **日本留学試験の記述問題について**
 —教育現場から「評価」の妥当性を問い直す—
 福岡健伸(実践女子大学)

《第5会場》明々館 4階 A407

- ① 10:20～10:50 **NBPTS を指針とした協働型アクション・リサーチによる新任教師の成長の可能性**
 高宮優実(バドュー大学大学院生)
- ② 10:55～11:25 **日本語教師の成長要因と自己意識・社会経験との関連性について**
 亀川順代(同志社大学大学院生)
- ③ 11:30～12:00 **海外で活動する日本人日本語教師に望まれる資質の構造化**
 —これからの日本語教師養成に向けて—
 平畑奈美(中国帰国者定着促進センター)

- ④ 13:40～14:10 日本語を第二言語とする児童生徒の学習言語能力と統語能力の関係を探る
長谷川朋美(横浜国立大学)
- ⑤ 14:15～14:45 バイリンガル・フリースクールにおける日本語教育の事例
富永和歌(ハワイ大学マノア校大学院生)
- ⑥ 15:10～15:40 談話からみる地域日本語活動の様相
新庄あいみ(大阪大学大学院生)
- ⑦ 15:45～16:15 在日日系ブラジル人2女性の言語生活
－日本語習得から－
池田亜季子(桜美林大学大学院生)

【ポスター発表】

《会場》 明々館 5階 A506 ○10:00～12:00 ●13:40～15:40

- 理系留学生のための中級日本語教材の開発
－クリティカルリーディング能力養成を目指して－
渡部裕子(日本学生支援機構), 大澤宣子(同), 増谷祐美(同)
- 専門分野の日本語学習辞典の設計
－『留学生のための二漢字語に基づく基礎医学術語学習辞典』の場合
隈井正三(淑徳日本語学校), 中川健司(常磐大学), 増田光司(東京医科歯科大学)
- 授業中のグループ作業に見られる話題展開
－日本人大学生の場合－
小笠恵美子(東海大学)
- 読解前の質問の種類と読解時間が日本語学習者の文章理解に及ぼす影響
古本裕美(広島大学大学院生)
- 専門科目と日本語教育をつなぐ授業活動の試み
福島智子(桜美林大学), 今井美登里(同), 坂巻延子(同)
- 言語習得と流動的文化的学習の統合教育
－ブログを使った文化的学習の試み－
松本一美(パデュー大学大学院生)
- 初級レベルでの日本人学生との自由会話用補助教材『留学生と日本人学生のための会話素材集－Let's get to know each other better!－』の開発
松本久美子(長崎大学)
- 定住外国人の名詞使用
－自然言語処理分析ツールを用いた研究事例－
佐野香織(お茶の水女子大学大学院生)
- 文法・文型操作力の学習を目的としたトピックシラバスのデザイン
品田潤子(国際日本語普及協会)
- 日本語シャドーイングの認知メカニズムに関する基礎的研究(2)
－記憶容量の大小および有意義語文と無意味語文の比較から－
倉田久美子(広島大学大学院生), 松見法男(広島大学大学院)
- 初級段階から始める「複雑な文構造」に対応する読解力の養成
－連体修飾節を題材に－
増田真理子(東京大学), 大関浩美(同), 前原かおる(同)
- グループレッスンで行うシャドーイング
－実践報告－
齋藤仁志(カイ日本語スクール), 深澤道子(同), 中村雅子(同)

- 外からの情報を自分の文章にどう組み込んでいくか
ーアカデミック・ライティングにおける引用の学習ー
二通信子(東京大学)
- チュートリアルの進学活動の紹介とその成果
ー日本語予備教育における進学指導の実践報告ー
倉持益子(明海大学大学院生)
- 大学初年次における留学生のアカデミック・ライティングの教材開発と実践の試み
植田和美(桜美林大学), 今井美登里(同), 守谷智美(お茶の水女子大学), 久保田美映(桜美林大学)
- 就学期外国籍児童に対する日本語文字・語彙教材開発のための語彙調査
安藤淑子(山梨県立大学)

【パネルセッション】

《会場》明々館 4階 A408

- ① 10:00～12:00 授業における映像メディア(ドラマ・アニメ等)の活用
長谷川恒雄(言語文化研究所), 土井眞美(国際交流基金),
保坂敏子(日本大学)
- ② 14:00～16:00 日本における言語マイノリティ問題と日本語教育
木村哲也(杏林大学), 山田泉(法政大学), 朴海淑(らいこむ多文化教室),
リアン・テルミ・ハタノ(甲南女子大学), 尾崎明人(名古屋外国語大学)

《会場》明々館 5階 A510

- ① 10:00～12:00 日本における多言語使用者の言語管理と日本語教育
ー「多言語社会」から「多言語使用者の社会へ」ー
村岡英裕(千葉大学), サウクエンファン(神田外語大学),
石田由美子(桜美林大学), 高民定(千葉大学)
- ② 14:00～16:00 年少者日本語教育における「JSL カリキュラム」とリテラシー教育
石井恵理子(東京女子大学), 齋藤ひろみ(東京学芸大学),
門倉正美(横浜国立大学), 川上郁雄(早稲田大学)

【デモンストレーション】

《会場》明々館 5階 A507 13:40～15:40

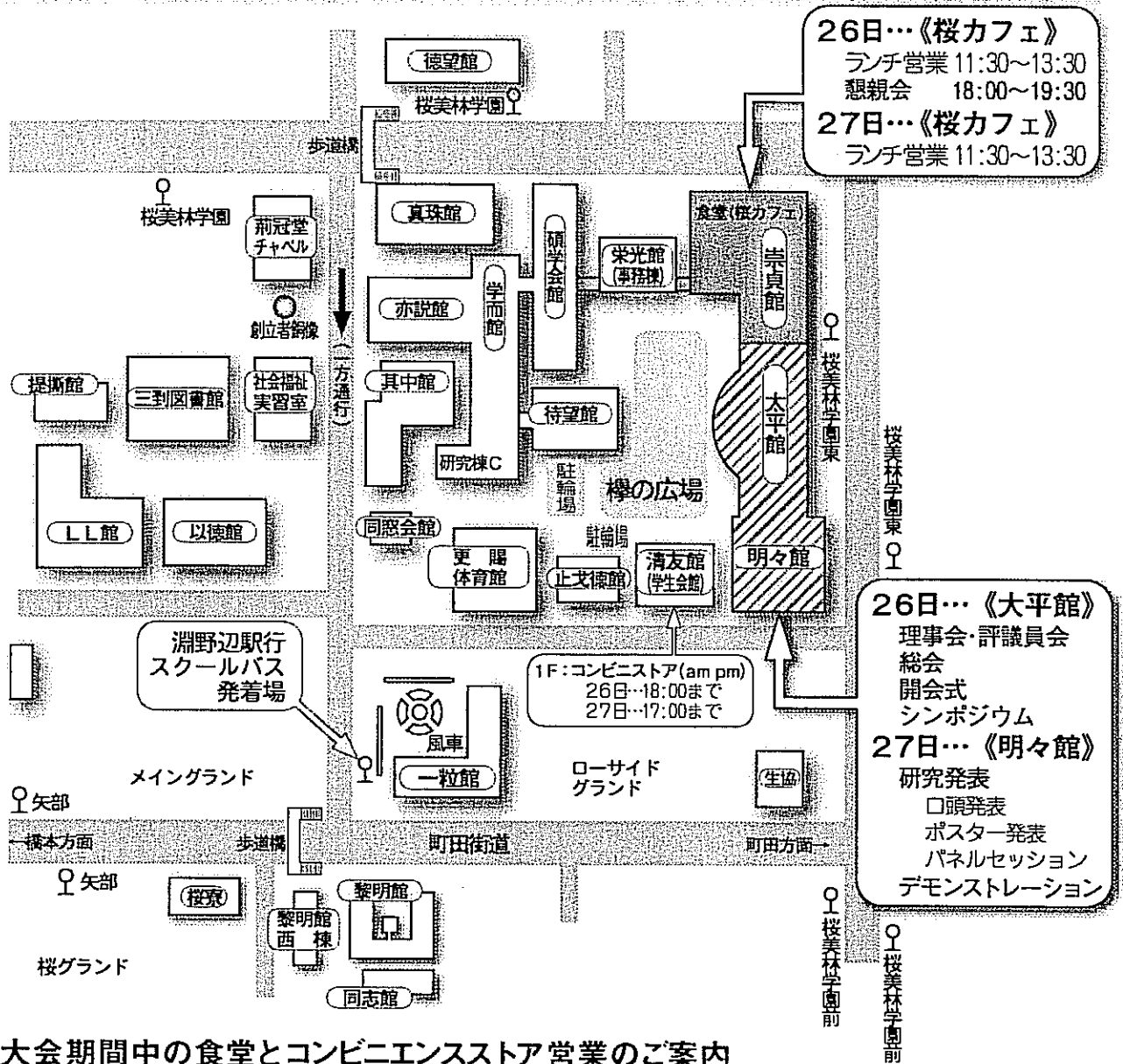
- イメージと漢字をレイヤした初級漢字導入教材の開発
江崎哲也(山梨大学)
- 「用例付学習語彙 5000 語対訳スペイン語(試用版)」NPO 中学・高校生の日本語支援を考える会編
樋口万喜子(神奈川県立神奈川総合高等学校)

【日本語能力試験改訂に関する中間報告会】

《会場》明々館 4階 A408 13:00～13:30

国際交流基金, 日本国際教育支援協会

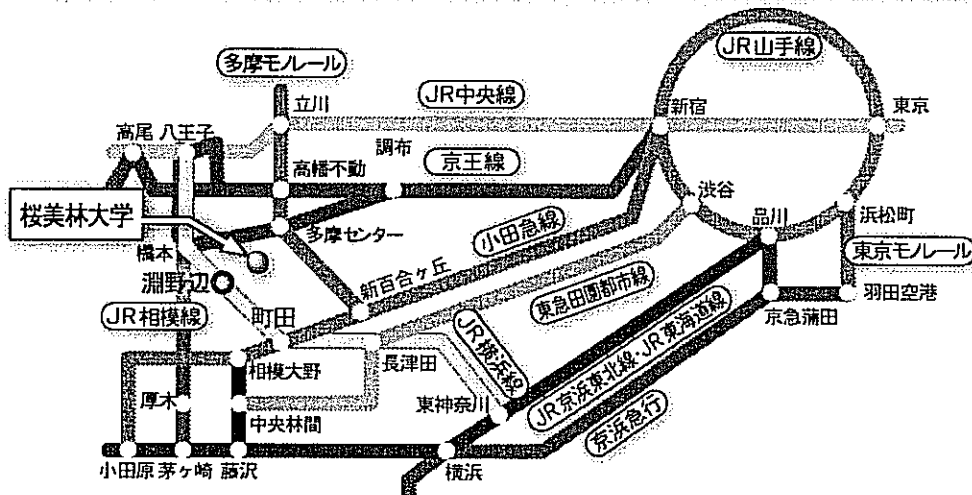
桜美林大学キャンパス案内図



大会期間中の食堂とコンビニエンスストア営業のご案内

崇貞館1階の桜カフェ(食堂)と清友館1階のam pm(コンビニエンスストア)が、上記の時間帯で営業しています。会場周辺の食堂には限りがありますので、昼食はこれらの施設をご利用いただくか、各自ご用意ください。

会場への交通案内——桜美林大学



※会場へ向かうには、淵野辺駅(JR横浜線)で降りるルートと、町田駅(JR横浜線、小田急線)で降りるルートとの2種類があります。

◇淵野辺ルート

淵野辺駅までの経路…

- 新宿から 新宿→小田急線・急行→町田→JR横浜線→淵野辺…約50分
- 渋谷から 渋谷→東急田園都市線・急行→長津田→JR横浜線→淵野辺…約50分
- 羽田空港から 羽田空港→京急空港線快特→京急蒲田→京急快速特急→横浜…約25分(以下参照)
- 横浜から 横浜→東急東横線→菊名→JR横浜線→淵野辺…約50分
横浜→JR京浜東北線→東神奈川→JR横浜線→淵野辺…約50分

淵野辺駅から…

- 桜美林学園スクールバスで会場へ

【淵野辺駅発着所】⇔【桜美林大学発着所】→

乗り場：改札を出て右側の階段を下りたところ
料 金：無料，所要時間：約5分

- タクシーで

乗り場：改札を出て右手のエスカレーターをおりたところ
料 金：740円前後，所要時間：約5分「桜美林大学の生協前下車」と教えてください。

(下記の時間帯を往復運行)

26(土)	8:00~18:35	5~10分間隔
	19:40~20:10	10分間隔
27(日)	9:10~11:00	10分間隔
	15:45~16:45	

◇町田ルート

町田駅(小田急小田原線)から…

- 神奈川中央交通(通称かなちゅう)バスで会場へ

(1)町田バスセンター3番のりば

【小山田桜台行き(表示：町32,町34)】

【町田バスセンター】⇒【桜美林学園】→

乗り場：本厚木寄りの改札を出て右手に直進し
エスカレーターを下りたところ

料 金：250円，所要時間：約20分

	土曜日	日曜日
8時~14時	12/27/42/57	12/27/42/57

(2)町田バスセンター13番のりば

【橋本駅北口行き(町30,町62)】【橋本駅行き(町60)】

【町田バスセンター】⇒【矢部】→

(3)町田バスセンター13番のりば

【淵野辺駅北口行き(町29)】

【町田バスセンター】⇒【桜美林学園前】

※(2)(3)は乗り場は共通ですが，下車停留所が
異なりますのでご注意ください。

乗り場：本厚木寄りの改札を出てさらに右手に
直進し西友正面の階段を下りたところ

料 金：250円，所要時間：約20分

	土曜日	日曜日
9時	00/20/30/40/55	00/10/25/35/50
10時	00/05/20/40/45/55	05/10/20/35/40/50
11時	05/20/30/40/55	05/20/35/50/55
12時	05/17/20/40/45/55	05/20/35/50
13時	05/20/30/40/55	05/10/20/35/50
14時	00/05/20/40/42/55	10/25/40/45/55

◆桜美林大学から各方面へ

- 桜美林学園スクールバスでJR淵野辺駅へ

【桜美林大学発着所】⇔【淵野辺駅発着所】

上記の往復運行バスをご利用ください。

- 神奈川中央交通(通称かなちゅう)バスで
小田急線町田駅へ

【桜美林学園】⇒【町田バスセンター(町田駅)】

【矢部】⇒【町田ターミナル(町田駅)】→

※キャンパス案内図に記載の「桜美林学園前」，
「桜美林学園東」停留所からの便は本数が少な
いため省略いたします。

- タクシーで

相模交通：042-752-4559

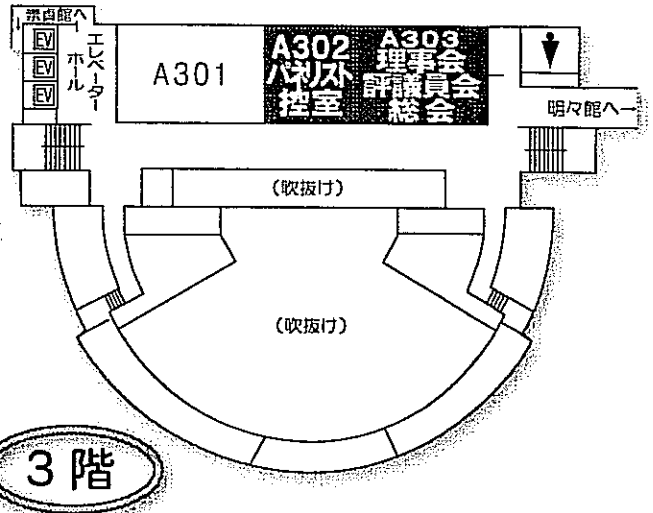
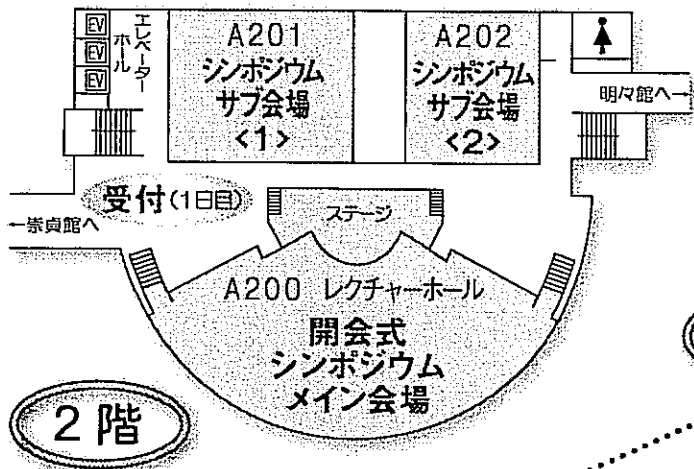
県央個人タクシー：0120-879-510

	土曜日	日曜日
14時~20時	11/26/41/56	11/26/41/56

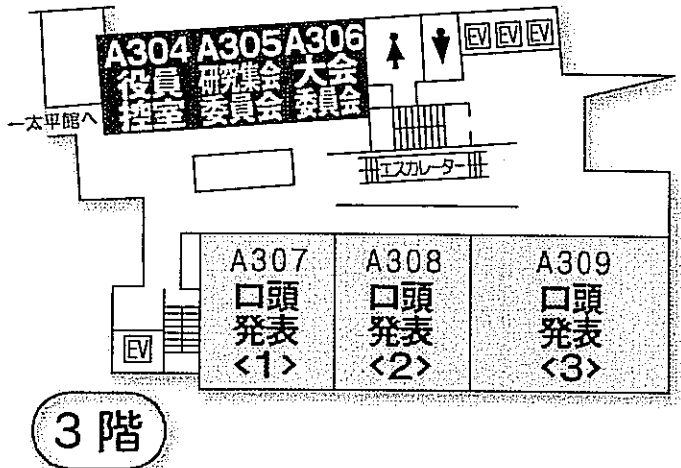
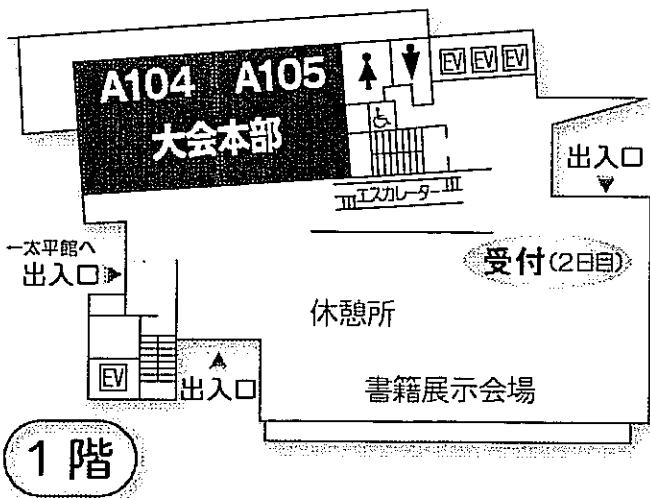
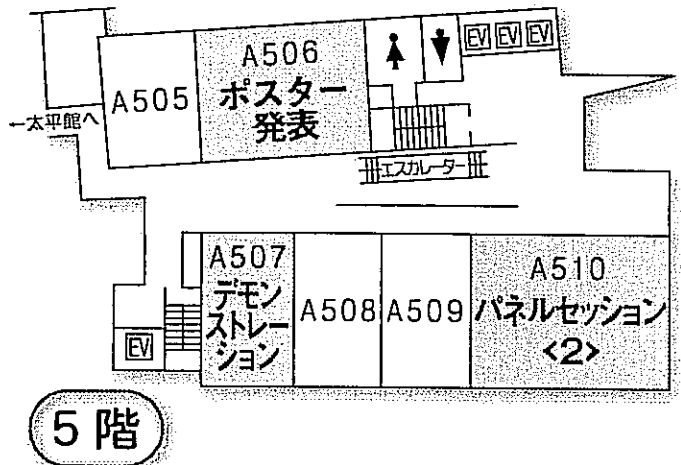
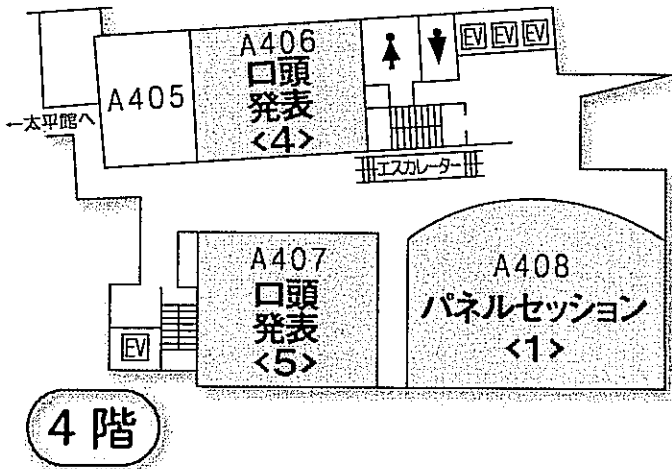
	土曜日	日曜日
14時	01/16/31/46	11/26/41/56
15時	01/16/31/46	11/26/41/56
16時	01/16/26/41/56	11/26/41/56
17時	11/26/41/56	11/26/41/56
18時	11/31/51	11/26/41/56
19時	11/31/51	11/26/41/56
20時	11/31/56	11/31/51

会場案内図 — 大平館・明々館

太平館



明々館



EV…エレベーター
…手洗所